

平成30年9月高浜市議会定例会会議録（第5号）

日 時 平成30年9月7日午前10時

場 所 高浜市議場

議事日程

- 日程第1 議案第57号 高浜市情報公開条例の一部改正について  
議案第58号 高浜市産業立地の促進に関する条例の一部改正について  
議案第59号 市道路線の認定について  
議案第61号 高浜市介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
議案第62号 高浜市地域交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について  
議案第63号 高浜市大山会館の設置及び管理に関する条例の制定について  
議案第64号 高浜市使用料及び手数料条例の一部改正について  
議案第65号 高浜市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第2 議案第66号 平成30年度高浜市一般会計補正予算（第4回）  
議案第67号 平成30年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）  
議案第68号 平成30年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第1回）  
議案第69号 平成30年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第1回）  
議案第70号 平成30年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第1回）  
議案第71号 平成30年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第1回）  
議案第72号 平成30年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）  
議案第73号 平成30年度高浜市水道事業会計補正予算（第1回）
- 日程第3 認定第1号 平成29年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第2号 平成29年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第3号 平成29年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第4号 平成29年度高浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第5号 平成29年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第6号 平成29年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第7号 平成29年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 議案第60号 平成29年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

認定第8号 平成29年度高浜市水道事業会計決算認定について

日程第6 決算特別委員会の設置

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

1番	杉浦康憲	2番	神谷利盛
3番	柳沢英希	4番	浅岡保夫
6番	黒川美克	7番	柴田耕一
8番	幸前信雄	9番	杉浦辰夫
11番	神谷直子	12番	内藤とし子
13番	北川広人	14番	鈴木勝彦
15番	小嶋克文	16番	小野田由紀子

欠席議員

なし

説明のため出席した者

市	長	吉岡初浩
副	市長	神谷坂敏
教	育長	都築公人
企	画部長	深谷直弘
総合政策グループリーダー		榊原雅彦
人事グループリーダー		杉浦崇臣
ICT推進グループリーダー		山下浩二
総	務部長	内田徹
行政グループリーダー		中川幸紀
財務グループリーダー		竹内正夫
市民総合窓口センター長		中村孝徳
市民窓口グループリーダー		内藤克己
市民生活グループリーダー		芝田啓二
税務グループリーダー		亀井勝彦
福	祉部長	加藤一志
地域福祉グループリーダー		木村忠好
地域福祉グループ主幹		唐島啓一
地域福祉グループ主幹		加藤直

介護保険・障がいグループリーダー	野口恒夫
福祉まるごと相談グループリーダー	野口真樹
健康推進グループリーダー	磯村和志
こども育成グループリーダー	都築真哉
文化スポーツグループリーダー	鈴木明美
都市政策部長	杉浦義人
都市整備グループリーダー	田中秀彦
企業支援グループリーダー	島口靖
都市防災グループリーダー	神谷義直
上下水道グループリーダー	杉浦睦彦
地域産業グループリーダー	板倉宏幸
会計管理者	三井まゆみ
学校経営グループリーダー	岡島正明
学校経営グループ主幹	村越茂樹
監査委員事務局長	山本時雄
代表監査委員	加藤仁康

職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	加藤元久
主査	加藤定
主査	神谷直子

議事の経過

○議長（鈴木勝彦） 皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の進行に御協力のほどお願い申し上げます。

午前10時00分開議

○議長（鈴木勝彦） ただいまの出席議員は全員であります。よって、これより会議を開きます。お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定いたしました。

これより本日の日程に入ります。

なお、審議の途中において、執行部のグループリーダー等が席を移動することがありますので、あらかじめ御了承をお願いいたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第1 議案第57号から議案第59号まで及び議案第61号から議案第65号までを会議規則第34条の規定により一括議題として総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかをお示しいただきますようお願いいたします。

ありませんか。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） まず、議案第57号について伺います。

審査請求に係る規定を整備するなどのためでありますという提案理由が載っていますが、大きく変更になる点があったらお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） このことにつきましては、8月23日の議案説明会で御説明を申し上げましたが、再度申し上げます。

初めに、議案参考資料の1ページをあわせてお願いしたいと思っておりますけれども、第8条第1項の改正規定でございますが、この規定は、公開請求があった日が市の休日に当たるときは、その翌日以降の最初の市の休日以外の日、いわゆる執務日に公開請求があったものとみなすことを明記するものでございます。それが1点でございます。

さかのぼりまして、第6条、これは条文のほうでございますけれども、第6条に第3項及び第4項を加える改正規定は、これは公文書公開請求の取り下げが行われる場合、これは請求人による権利の行使の取りやめでございますので、その手続を条例で明記するものであります。

議案書で申し上げますと、裏面になりますけれども、第9条の2の次に第9条の3を加える改正規定、これは議案参考資料の1ページをあわせてごらんいただきたいと思っておりますけれども、先ほど申し上げました第8条第1項の改正規定と同様に、公開決定に係る期間の計算につきまして期間の末日が市の休日に当たるときは、その翌日以降の最初の市の休日以外の日、いわゆる執務日に満了することを明記するものでございます。

第11条の改正規定でございますが、これが提案理由にございます審査請求に係る規定の整備でございますけれども、議案参考資料の1ページをあわせてお願いしたいと思っておりますけれども、第11条第1項第2号を改める改正規定は、審査請求があった場合の手続について情報公開審査会への審査を要しない場合として、裁決で審査請求の全部を認容し、当該審査請求に係る公文書の全部を公開することとする場合を情報公開法に準じて定めるものであります。

そのほか、附則第3項をごらんいただきますと、使用料及び手数料条例の一部改正を行ってお

りますが、これまで現行の条例では1枚10円とのみの規定がございまして、片面、両面の区別がございませんでした。請求される方の中には郵送での希望をされる方もいらっしゃいます。そうしますと郵送料の実費がふえることもございますので、両面の場合は1枚につき所定の額の2倍、いわゆる20円とすることで、両面コピーも可能にすることで請求をされる方への利便性にも期するものでございます。

大きな概要は以上のとおりでございます。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 今、3つ目、11条の関係だったと思うんですが、情報公開を請求があった場合に裁決をすると言われましたが、どういう方たちが裁決をするのか、1人ではできないと思いますので、その点をお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 答弁を求めます。

行政グループ。

○行政G（中川幸紀） 裁決といいますのは、決定に対して不服があるような場合に審査庁という形にされるものであって、執行機関、例えば、一般的には高浜市長に対して不服の申し立てがあった場合については、高浜市長が不服申し立てに対して、その決定を改めてするときには裁決という形をとる形になります。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） そうすると、市長が決めるということですよねですか。

○議長（鈴木勝彦） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） 第11条をごらんいただきますと、実施機関は、次の各号のいずれかに該当する場合を除き情報公開審査会に諮問しなければならないとございますので、裁決を行う場合は、市長部局、教育委員会、その他執行機関がございまして、実施機関が行うものでございます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） それでは、議案第63号 高浜市大山会館の設置及び管理に関する条例の制定についてお伺いをいたします。

附則では、この条例は平成31年4月1日から施行するとなっており、提案理由では、この案は高浜小学校等整備事業の実施に伴い、高浜市立大山公民館の公民館機能を高浜市地域交流施設に移転し、同公民館を大山会館として当分の間、存置するためでありますとありますけれども、この「当分の間」というのはいつまでのことを言うんでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 議員も御承知のとおり、大山公民館については将来、市として

は保有しない施設として位置づけており、今、地域のほうと譲渡に向けた協議をしております。協議のほうが大まかに、今年度中には中心メンバーの中で方向性のほうが大体見えてくるだろうと。ただし、町内会での決議等も踏まえていきますと、最終的には総会の決議なども経ていく必要があると思われまますので、今、地域のほうとは、来年度中には譲渡を受けるのか受けないのかそういった方向性を固めていただきたいということでお話をしております。ですので、当面の間ということで想定しておりますのは1年か2年程度というふうに考えております。

まずは、来年度中に方向性を固めていただき、もし仮に譲渡を受けるということになれば、さらに細かい詰めをしていくということを考えております。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） もしも、こんなことはないと思いますけれども、町内会のほうが受けないというような形になったらどうなるのでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） そのときには、市としては保有しないというふうに位置づけておりますけれども、改めてどういう形がふさわしいのかということを考えてまいります。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 今の第63号ですが、地域が受け皿とするよう話し合っているというふうに言われましたが、防災の面なんかでいうと、もし被災が出た場合にどこが責任を持つのか。今後、避難所としても使っていくというお話ありましたので、そうした場合にけが人が出たり、何かで死者が出たりした場合にどこが責任を持つのかということと、今から大山会館として大山公民館を会館として使っていくということになるわけですが、そうした場合に、いずれは何十年か先になるかもしれませんが、解体するときが来るかと思うんですが、そういう解体費用なんかはどこが責任を持つのかお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 今、解体費用というお話がございましたけれども、まだ施設のあり方、譲渡するのかもしれないとかというところが決まっておりませんので、市が最終的に持った状態ということであれば市のほうが当然解体をしていくということになります。

あと、避難所機能のことをおっしゃられましたけれども、今、避難所として活用されているわけですが、今、地域との協議の中で、もし地域が受けていくということになれば当然避難所ということを意識されておりますので、そういったときには避難所機能として残っていくだろうと思いますけれども、市全体として避難所のあり方を考えていくことになろうかと思えます。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 市全体として考えていくということになりますと、まだそういう点では

はっきりした結論が出ていないというふうにも今お聞きしましたけれども、それでいいんでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） まだ、施設が地域のほうで受けていただけるのかいただけないのかということが、はっきりしているわけではございませんので、そのような答弁をさせていただきました。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 今の点は、ちょっとはっきりしないところがありますが、次に、第58号で産業立地の問題が出ていますが、敷地面積に関する基準の緩和だということなんですけど、どうして工場の範囲を拡大するようになったのかお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 企業支援グループ。

○企業支援G（島口 靖） 今回の一部改正につきましては、近年、愛知県企業庁や他の土地開発公社のほうにおきまして工業用地の創出事業に取り組みられ、販売のほうが実施されておられます。その面積を見ると、比較的小規模な区画も販売し実施されてございます。

あと、昨年9月に豊田町地区の公募の際も、この5,000平方メートルぐらいの土地を求めている企業ニーズがございまして、それらの企業ニーズに対応するために、今回、一部改正をお願いするものでございます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） わかりました。

第62号の高浜市地域交流施設の関係ですが、最初にA3の説明図を見させていただきますと、この地域交流施設は学校とはまた別になると思うんですが、交流施設の管理人さんというか管理室というか、というのはどこになるのでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 今、A3の資料とおっしゃいましたのは、議案説明会のときに配付させていただいた参考資料のことだと思いますけれども、こちらの図面のほうには、ちょっと今切れておまして事務管理室というのが載っておりませんが、その議案説明会で配付させていただいたA3の資料の右下のほうに1階の平面図ということについているんですが、図書室、調理室の少し上のあたりに事務管理室というものが置かれる予定となっております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第57号から議案第59号

まで及び議案第61号から議案第65号までの質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第57号から議案第59号まで及び議案第61号から議案第65号までについては、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、各常任委員会及び公共施設あり方検討特別委員会に付託いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第2 議案第66号から議案第73号までを会議規則第34条の規定により一括議題として総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるか、ページ数及び款・項・目・節をお示しいただきますようお願いいたします。

3番、柳沢英希議員。

○3番（柳沢英希） 議案第66号の平成30年度高浜市一般会計補正予算の65ページの3款民生費、1項の社会福祉費のところ、いきいき広場の管理運営事業で工事請負費があるんですけども、こちらの説明が、たしか機械室の漏水というふうに伺っているんですが、どういった形での漏水だったのかと、あと工事期間というのはどのくらいかかっているのかということをお教えいただきたいと思っております。

○議長（鈴木勝彦） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（木村忠好） まず、こちらのほうのいきいき広場の3階の機械室の漏水の件ですが、配管の中で圧力ゲージというゲージがあるんですが、これが根元のところが腐食しておりまして、ここがとれてしまったと、そののとれたところから水が漏れてきたということで3階の部分のところから漏水したと、その漏水から2階の天井のほうを伝わっていきいきホールの天井のところをこちらまで伝わってきまして、いきいき広場のホールの石膏ボードが落ちてしまったということで、こちらのほうの修繕をお願いするものであります。

ただいま、応急的な処置をしております、この後、本格的な復旧工事のほうに入るといことで予算のほうの計上をさせていただいております。

復旧工事につきましては、おおよそ1カ月ぐらいで直るものというふうに見込んでおります。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） 3番、柳沢英希議員。

○3番（柳沢英希） ありがとうございます。

ちなみに、3階部分の機械室の漏水、配管の圧力ゲージからということなんですけれども、いきいき広場全体としての配管とかそういったもののチェックというか、そういう確認というのはされる予定はあるのかどうか。

○議長（鈴木勝彦） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（木村忠好） 今回の漏水を受けまして、この機械室の中の配管につきましては見



える範囲ですが、私どものほうで見させていただきまして、やはり腐食の部分が見られるというところにつきましては応急的な処置をさせていただきました。ただ、機械室以外のところは各配管というのは見るのが難しいという面もまたございます。現状ここが危険だろうというところは判断いたしまして、こちらは機械室のほうを見させていただきまして応急的な修繕を行ったというところでございます。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

3番、柳沢英希議員。

○3番（柳沢英希） 次のページの3款民生費、児童福祉費の子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料のことなんですけれども、今回、こちらの委託料が計上されている、なぜこの時期に計上されたのかということと、あと委託の業務内容のことについて教えていただければと思います。

○議長（鈴木勝彦） こども育成グループ。

○こども育成G（都築真哉） 御質問の子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料についてお答えいたします。

本年3月の予算委員会で御説明をさせていただいておりますとおり、3月の段階では、前回策定時に実施をしたニーズ調査を再度行う必要があるかどうかということについて、どのように計画を策定していくのかということ国の方針がまだ示されていない状況の中で、当初予算への計上を見送らせていただきましたところでございます。

今回、こちらについて補正予算で計上をさせていただいておりますが、今年度になりまして5月24日付で国から事務連絡が発出をされております。この通知では、第1期同様に利用規模把握調査等の実施が必要であるということが記されておりましたので、前回策定時と同様に、まずは今年度中にニーズ調査を実施いたしまして、来年度に、この調査結果を踏まえた計画策定をしていくというスケジュールで考えておるものでございます。

したがって、今回の補正予算では、いわゆるニーズ調査の実施に必要な委託料としまして248万4,000円を計上しておりますが、あわせて債務負担行為といたしまして、平成31年度の計画策定に必要な委託料分につきましては限度額229万円で計上させていただいているところでございますので、よろしくお願いたします。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

7番、柴田耕一議員。

○7番（柴田耕一） 第66号の67ページの4款1項の保健衛生費の中の地域医療振興事業なんですけれども、刈総への移転新築の新築補助金ということで一応予算上には上がっておるうちの、多分1年間の2億円を前倒しで渡すということなんですけれども、この利子補給の補助金1,467

万円というのは半年のリースでやると年利率14.67%とあって非常に高いと思うんですけども、これは上限として上げておるのか、交渉の段階で多分実際の利率は出てくると思うんですけども、そこら辺の御説明をお願いします。

○議長（鈴木勝彦） 健康推進グループ。

○健康推進G（磯村和志） 利子補給補助金の金利につきましては、医療法人豊田会と協議をさせていただきまして、10年固定金利で0.815%という数字でやらせていただくこととなっております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

7番、柴田耕一議員。

○7番（柴田耕一） ということは、要するに10年間0.815%ということによろしいですね。ほかの残りの、例えば18億円についても同じようなあれでやるということですね。

○議長（鈴木勝彦） 健康推進グループ。

○健康推進G（磯村和志） 今年度につきましては、まず2億円をお渡しさせていただきまして、残りの18億円に対してその利率を乗じた額を利子補給させていただきます。次年度につきましてはさらに2億円返還させていただきますので、残りの16億円に対してこの固定利率を乗じた額を補助金とさせていただくものでございます。

○議長（鈴木勝彦） 7番、柴田耕一議員。

○7番（柴田耕一） 次に、71ページの10款2項小学校の工事請負費なんですけれども、吉浜、高取等のLED化にすることなんですけれども、これは電灯器具等と天井のそういった少し、例えば耐震じゃないですけれども、そういったあれのチェックやなんかをされるのか、そこら辺のことも少しお聞きしたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 議員おっしゃるとおり、LEDをつける際には、やはり天井の状態は一応確認しまして10年程度はもつような最低限のところの、もし悪い状況でしたら補強等をしていくつもりでおります。

○議長（鈴木勝彦） 7番、柴田耕一議員。

○7番（柴田耕一） これは、教室等全て変えるのか、そこら辺のことも。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 全ての照明器具をLED化させていただきます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） 私も、議案第66号、ページが70ページ、今、7番議員が質問したのと同じところなんですけれども、10款2項1目の小学校のLED化の話が今出ていましたけれども、こ

れは、ほかの小・中学校、この辺のところはもう終わっているのか、計画的にどういうふうにや  
っていくのかその辺がわからないので教えていただきたいんですけども。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） ほかの学校ということで、LED化が進んでいるところは今現在は  
ございませんので、PCBが、今後発生が見込まれる学校ということでは、港小学校と高浜中学  
校が見込まれます。南中学校もそれと前後して古い照明でございますので、来年度にかけまして  
港と高浜中学校と南中学校の照明をLED化するという計画を立てております。

○議長（鈴木勝彦） 8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） ありがとうございます。

もう一つ、どうしてこの補正のタイミング、年度の当初の予算じゃなくてこのタイミングで出  
てきたのか。計画的にやっていくんじゃないですか。これ臨債で多分切っていると思うので、臨  
債で切るのはいいんですけども、臨債というのは交付金で面倒見てくれるんだけれども、たま  
たま今年度は交付団体になったから面倒見てもらえるんですけども、来年度以降、これ返して  
いかんといかん状態になるかもしれないですよ。そんな中で、ほかのところをどうやって進め  
ていくつもりなのか。

学校については、エアコンの話も出ていますけれども、その辺の優先順位どういうふうを考え  
てみえるのか、タブレットの話とかいろいろ出ていますよね。その辺が、全体のところが、個々  
に出てくるのでさっぱりわからないんですけども、どう考えてみえるかということをお願いし  
ていただきたいんですけども。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） このLED化というのは、当初は来年度、31年度にその全ての学校  
をLED化しようという計画でございました。私も、長期財政計画をつくった前担当者というこ  
とで申しますと、その小学校の関係のこういうお金というのは2億円ほど恐らく、私の記憶の  
限りでは長期財政計画に入っております、計画的に31年度にしようと思っていたものを前倒し  
して、その前倒しする理由というのは、吉浜小学校におきまして蛍光灯をかえたときに状況のよ  
くないPCBが発見されたということで、やはり吉浜小学校と、それより以前に建築された高取  
小学校については早急に、児童・生徒の安全を保ちたいということでやっております、基本  
的には長期財政計画に乗っている事業を行うということでございます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） たまたま今年度、臨債が切れるのでこのタイミングで前倒ししたという理  
解でいいですよ。

○議長（鈴木勝彦） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） ただいま臨債ということで臨時財政対策債のことだと思いますけれども、この財源を充てるのかという御質問であろうかと思えます。

補正予算書の10ページをごらんいただきたいと思えますけれども、今回、地方債補正を行っておりまして、小学校施設改修事業、補正前の額が3,400万円、補正後の額が8,700万円でございますので、学校改修事業の起債を充てるということで必ずしも臨時財政対策債を充てるものではございません。

○議長（鈴木勝彦） 8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） ということは、どうしてこのタイミングで出てくるかがわからないんですけれども、要は予算に余裕が出てからやる、やらせていただきたい、そういう理解でいいんですか。

○議長（鈴木勝彦） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） ただいま学校経営グループリーダーから答弁申し上げましたけれども、来年度全ての学校で行う計画であった中で、緊急性を要するものから順次前倒しをして行くというものでございます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） 先ほども言いましたけれども、緊急性を要するというのは、要はトイレの洋式化、タブレット、空調、今回のLED、何がどうなっているかというのがばらばら出てくると何が残っていて何をどうやっていくかって全体が見えないので、その辺のところをわかるように説明いただきたいんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） 先ほどの答弁の中で、LED化工事については長期財政計画の中で見込んであったという答弁があったとございます。そうした中で、年度予算を執行していく中で当初見込めなかったものであるとか、次年度の当初予算を待つよりも、年度途中でありますけれども補正予算で対応したほうが財政的に望ましいこういったものについて、そういった判断で補正予算を上げさせていただいたところでございます。

○議長（鈴木勝彦） 副市長。

○副市長（神谷坂敏） 今、るるお答えをしましたが、実は、吉浜小学校で故障した蛍光灯がありまして、それを交換したときに、もう既に液漏れ等が発生していた危険な蛍光灯が見つかりました。私どもも本来なら来年度全部ということでありましたが、そういうものがあるということがわかりましたので、じゃ、同じ時期に設置をした高取小学校と2校を1年前倒しで修繕をしていこうということの決定をしたものでございます。

○議長（鈴木勝彦） 8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） 御答弁ありがとうございます。わかりました。

もう一点、ここも同じところで、吉浜小学校の教室の改修工事費が出てきていますけれども、昨年も同じような質問をさせてもらいましたけれども、要は児童がふえたので教室が足りなくなったと。わかるんですけれども、要は、この改修で足りなくなったという、もとになっている原因、要はもと調べたときはこうだったんだけれども、それがこうなったということがわかるように説明いただきたいんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 吉浜小学校におきましては、特別支援学級が2学級あります。4月の時点で知的障がいの学級に6名在籍しておりました。30年度に入りまして、年度途中に通常の学級から知的障がいの学級に2名ほど移りましたので、現在、8名の在籍となる見込みでございます。

加えて、来年を見通しますと、6年生がいないため卒業を見込めません。来年度も知的障がいのクラスに入学する児童が見込まれるということで、この特別支援学級の定員が8人、目いっぱいのところをやっておりますので、来年1人以上は確実にふえるという状況でございますので、特別支援学級を1教室ふやさせていただくということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） ふやす理由はわかりました。ありがとうございます。

1点、やっぱり気になるんですけれども、吉浜小学校の運動場のところに新しい校舎ふやしましたよね、たしか数年前だと思います。そこの2階って多目的で使うホールになっていると思うんですけれども、見ていると、これから公民館と学校を一緒にやっていくとか、ちょっと議論は飛躍するかもしれないんですけれども、吉浜小学校の場合は吉浜公民館真横ですよ。公民館のホールなんて昼間なんてほとんどあきの状態になるじゃないですか。そうやって考えると、新しくそういうことをやるよりも、責任の問題とかいろいろあるんですけれども、そういう議論をされているのかどうかその辺が知りたいんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） おっしゃるとおり、吉浜公民館のホールというか、あきの部屋があるということでございますが、現時点では小学校の授業等々を行う上で移動の時間等々もございまして、やはり小学校の中で基本的には賄っていくと。今後、複合するというようなことが生じますと、高浜小学校のようにその中に入り込んでということはございますが、現時点では吉浜公民館を使うというような考え方は持っておらずに、今後はそういうことが可能であれば検討していく必要はあるかなと思っております。

○議長（鈴木勝彦） 8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） よく財政の担当に言わせると、すごく危機感を持って運営しているという

ことを言われるんですけれども、今いろいろお話伺っていると本当に危機感を持っているのかなという気がするんですよ。そこまで本当に検討されているのかなというふうに思うんですよ。

それと、今回エアコンの話が出たときに、そういう費用というのは湧いてくるわけじゃなくてどこかで見直してつくっていかざるを得ないんですよ。やっぱりそういうことをしっかり検討いただきたいんですけれども。そういうことを検討されているかどうか、ちょっとその辺も聞いてみたいんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 教室の話に戻しますと、要は、基本的には1つずつ空き教室があれば一番いいわけなんですけれども、今後、児童数の減少が見込まれるという中で必要最小限の投資でいきたいといったときに、今回のように、本当に1つずつ空き教室を設けるとすると無駄な投資も結構ふえていくという状況がございますので、そういう空き教室がない中でもやりくりしながら、本当に真に必要なものに投資をしていくという考え方を持ってやっておりますので、御理解いただければと思います。

○議長（鈴木勝彦） 副市長。

○副市長（神谷坂敏） 今、財政のお話もございました。実は昨日、市長と私、それと総務部長を初めとする財政担当で、来年度当初予算に向けて目指すべき方向性、具体的な削減策の中でこうやっていく必要があるといったところの打ち合わせはしておりますのでよろしくお願いたします。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 第66号の66ページ、67ページですが、4款の衛生費、1項保健衛生費、3目医療対策推進費の中で地域医療振興事業、先ほども出ましたが、2億1,467万円計上されています。まだ移転新築が済んだわけではないのにこの費用が出るというのは、どのようになっているのかお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 健康推進グループ。

○健康推進G（磯村和志） 今回の財政支援でございますけれども、私どもも、当初は新病院の開設に合わせまして平成31年度から10年間にわたって移転新築費補助金を支払う予定をしておりましたけれども、皆さん御案内のとおり、分院の移転新築工事というのはことしの4月から始まりまして来年の6月に竣工を予定いたしております。

病院の建設主体であります医療法人豊田会のほうから、建設費用支払いのために金融機関から借入れを起こすに当たりまして、資金計画上、補助金の前倒しをしていただきたいという打診を頂戴いたしました。私ども、豊田会側からの打診を受けまして、本年度から病院の建設費の支払いが発生するということを考慮いたしまして、補正予算を計上することといたしました。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

7番、柴田耕一議員。

○7番（柴田耕一） 59ページの9款1項、これは総務建設委員会で聞けばいいんですけれども、これは地方交付税8,200万円ほど増額ということなんですけれども、要するに交付団体になったのでこの金が入ってくるのか、次年度以降もある程度予定をされておるのか、そこら辺のことをお聞きしたい。

○議長（鈴木勝彦） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 議員おっしゃるとおり、普通交付税が交付されたということは交付団体になったということでございます。

それから、次年度以降につきましては、まだ試算ではございますけれども、今年度の法人市民税等がふえ安定してくる、基準財政収入額がふえるであろうという見込みでございますので、不交付団体になるのではないかとこのように予想しているところでございます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（鈴木勝彦） ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第66号から議案第73号までの質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第66号から議案第73号までについては、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり各常任委員会に付託いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第3 認定第1号 平成29年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただきますようお願いいたします。

8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） 決算書じゃないんですけれども、主要・新規事業等の概要〔決算〕ということであっていただいている資料、これの7ページのところで、LPWAのネットワークの話が出ていますけれども、昨日のアクションプランの中でも質問させてもらったんですけれども、要は、これ見ていると成果というものがさっぱりわからないんですけれども、これ投資して結果どういう姿になるかというのが全然わからないので、事業をやるのはいいんですけれども、事業が終わった後どういう姿になっているというのを、この辺、説明いただきたいんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） LPWAの関係でございますが、これは通信規格の一つござい

まして、そもそもの目的は安価な通信料に基づいて地域をネットワーク化したいと、これがもとの考え方でございます。

現在、これ決算ではございませんが、最近では、やはり今主流が5Gになる、時代になるということで3Gの回線があいておるとい形がございますので、そういった安価になった通信網を活用してよりよい行政サービスを提供していきたいという考え方を持っておるところでございます。

○議長（鈴木勝彦） 8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） ちょっときつい質問になりますけれども、よりよい行政サービスって何なんですか。

○議長（鈴木勝彦） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） 一例を申し上げますと、昨今、子供を巻き込んだ悲しい事件がございます。こうしたときに例えば、そういった技術を使うと未然に防げた可能性があるものもございますし、また、そういった通信網を使って子供さんを見守っているまちであるということが抑止力になるのではないかとございます。今までそういった技術がございませんでしたが、こういった技術を使うことによってそういった悲しい事件を減らす、もって行政サービスの向上というように考えておりますのでよろしく申し上げます。

○議長（鈴木勝彦） 8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） わかりました。これ以上やっても禅問答になるのでやめます。

続きまして、今の主要成果、新規事業の関係の11ページに防災活動事業というのが出ていますけれども、備品いろいろ買われたというのはわかるんですけども、要は、これ全体の流れが全然わからないんですよ。この年度で買ったのはいいんですけども、今どういう状況になって、どこまで進んで、どういう姿を目指しているということがわからないので、単品でばらばら出てきても、備品の関係、トータルで見えるような形でどこまでいっているということがわかるように説明いただきたいんですけども。

○議長（鈴木勝彦） 都市防災グループ。

○都市防災G（神谷義直） 御質問の防災倉庫及び資機材等の計画も含めた状況でございますが、まず防災倉庫につきましては、方向性といたしまして、基幹避難所になり得る市内の小・中学校7校に設置していこうということで3カ年をかけまして整備をしております。ごらんの資料の11ページの事業内容のところがございますとおり、平成29年度をもって予定の設置場所の全てが設置が終了という状況でございます。

また、そこの中に入れる資機材につきましても、後ほどの主要成果の中にも幾つか載ってくるんですが、整備計画のほうを整備いたしまして計画的に必要な備品のほうを整備しておるとい状況で進めておる状況でございます。



○議長（鈴木勝彦） 8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） 計画、その最後の姿があって、今そのプロセス、過程なんですよ。それが終わると、備品の入れかえだとかそういうステップに入っていくと思うんですけども、その最後のステップが終わるのがいつになるのと、最後のステップになったときにどういう状態になる、要は、何人分を3日間、食料であれば。食料、水とかそういうものがあるだとかその辺のことはどこかに書かれているんですか。

○議長（鈴木勝彦） 都市防災グループ。

○都市防災G（神谷義直） 具体的には、主要成果等におきましても目標値とかの記載はない状況で、例えば、今回で申しますと、平成29年度に購入した資機材等のみが記載してある形になっておりますが、大変わかりにくくて申しわけない部分はあるんですが、災害用の資機材等につきましても、正直終わりではなく、一応個々の品目等は定めておりまして目標値を設定しております。

それに基づいて計画的に整備はしておるんですが、個々の、例えばトイレ、パーテーション、そういったものについては目標の数値がありまして、定期的に購入を進めていく中で目標値に達すれば、次のまた新たな資機材の計画を立ててつくっていくというところで、順次進めておるという状況でございます。

○議長（鈴木勝彦） 8番、幸前信雄議員。

○8番（幸前信雄） 一生懸命やってくれるのはよくわかるんですけども、要は、平成32年度までにこういう状態にする、その中のステップはこうだという話じゃないと、32年度終わった段階でもう一度、この部分が欠けているからって進め方はわかるんですけども、どこのタイミングで一旦ね、今の考えているところ終わるところもわからないので。

○議長（鈴木勝彦） 都市防災グループ。

○都市防災G（神谷義直） 大変申しわけありません。今後、主要成果等の記載方法も変えていく必要があるかなとも思っておりますが、例えば、今回、主要成果のほうの75ページをごらんいただきますと、平成29年度に購入いたしました資機材が載っております。記載の状況は29年度に購入した基数のみしか載っていないという状況なんですけども、例えば、先ほど防災倉庫でいいますと目標値が14基ということでございまして、ことし6基を購入いたしまして最終的に目標値が達成したという状況でございます。

そういった形で、今後わかりやすく見直しを進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） それでは、3点ほど質問させていただきます。

主要成果説明書57ページ、市役所本庁舎整備事業で質問させていただきます。

旧市役所庁舎の1階西側に陶壁画がありました。この陶壁画は市内の陶芸家の方たちが市民の手形や作品をモチーフにして制作されていましたが、副市長ができるだけ保存したいという説明がありました。現在どのようになっているのかまずお答えください。

○議長（鈴木勝彦） 行政グループ。

○行政G（中川幸紀） 陶壁画につきましては、現在、取り外しができたものにつきまして、美術館のほうで数点お預かりさせていただいております。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 前のときに、庁舎の水質の維持管理ですけれども、そのことについてどのように行っているのかとお尋ねしたところ、毎日水質検査を行っており残留塩素が0.1ppmを切った場合、受水槽の水を流しているとの説明でしたが、受水槽の水位を下げて、できるだけ流す水を少なくしたらどうかということでアドバイスをさせていただきましたけれども、現在はどのような維持管理をしているのかお答えください。

○議長（鈴木勝彦） 行政グループ。

○行政G（中川幸紀） 現在におきましても、飲料水として使用するために残留塩素濃度を基準値以上に保つような形で毎日確認をしております。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） まだ、それじゃ水を流しているってことですね。1カ月にどれぐらいの水を流しているのかわかりますでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） その量については把握をいたしておりません。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 私が申し上げているのは、いわゆる節水だとかそういったものに、皆さん方に努めてくださいといったことを言っておいて、一方、庁舎のほうで流しておいては市民に対して説明責任がつかないというふうに思いますので、一度その辺のところをきっちり調査をさせていただいて、それから前のときに、このところが避難場所だとか云々という話があって、そのときに、ある程度水位を下げてしまうと水が少なくなってしまってということで水位を下げられないというような話を聞いたことがあるんですけれども、その辺のところの考え方は今でも同じなんですか。

○議長（鈴木勝彦） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） 先ほど、行政グループリーダーより御答弁申し上げましたとおり、飲料水としての水質を確保するために残留塩素濃度を保つ必要がございます。そういった必要性をもって水質管理をいたしているところでございます。

また、この庁舎につきましては防災拠点となりますので、一定水量以上の水量を貯水槽にため

ておく必要性、これに基づいて管理を行っているところでございます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） ちょっと納得しかねるんですけども、実際に水を保存しておかなければいけないということはわかるんですわ。だけれども、うちのところの受水槽のタンクの容量だとか、そういったことはきちっと把握しておられますか。

○議長（鈴木勝彦） 行政グループ。

○行政G（中川幸紀） タンクの容量ということではありますが、災害時に備えて水を確保しておく必要があるというところから6.9立米、6.9トンの水を受水槽に確保しております。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 6.9立米ということは、どれだけの人数の水量が確保できるわけでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 行政グループ。

○行政G（中川幸紀） 申しわけございません。何人分ということまでちょっと把握しておりませんので、また確認をしておきます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 今、私が申し上げましたように、あくまでも維持管理していくんだったら6.9立米を満杯にして維持管理していくじゃなくて、それを半分に下げた場合でいっていきますと流す量ももっと減ってくるわけです。その辺のところを僕は前申し上げたわけです。それを全然検討せずに、まだ、いまだに同じようなことをして水を流している。これは資源の無駄だということを申し上げておりますので、ぜひその辺のところは一考していただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） ただいまの御指摘については、全く検討していないわけではございません。例えば、上水、中水、下水と申しますと中水層にそういった水が保管できないかということも研究はいたしましたけれども、いずれにしても、それもなかなか難しいと、現行の方法を維持していくこととさせていただきます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 今のような考え方でしたら、例えば、よそのところの庁舎へ行きますと、この水は飲めませんかとかそういうような表示もしてあるわけじゃないですか、その辺のところも考えていけば、今言われたようなことはもう十分対応できるというように思います。

それから、次に、主要成果説明書238ページ、図書館管理運営事業で質問させていただきます。

図書館と郷土資料館の利用状況のところ、入館者数が3,442人ふえているのに貸し出し冊数は9,652冊、利用者数は2,084人と減少していますが、この理由についてお答えください。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） この理由ということでございますけれども、はっきりとしたことはわかりませんが、1人当たりの貸し出しの冊数等がだんだん減っているということではないかなと思っております。

入館者数が前年度よりもふえているということで、入館した方というのは自動の入り口のカウンターのところまで数えておりますので、訪れた方はふえているということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 実際に、僕も利用者の方に聞いたことがあるんですけども、貸し出し冊数やなんか減っているというのは、あそここのところで雑誌やなんかを購入している部分もあるわけですよね。よその図書館やなんかと比べると、その雑誌の種類が少ない、そういったような意見も出ていますけれども、その辺は承知しておみえになりますか。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 私どもの図書館の運営の考え方としましては、ありとあらゆるものを幅広くそろえるということではなくて、高浜市にふさわしいあり方ということで考えておりますので、雑誌の種類が少ないという、今、御意見でございましたけれども、特に幅広くそろえるといったことの考えはございませんのでよろしく申し上げます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） それでは、図書館の資料購入費についてお尋ねします。

平成25年から平成29年、それぞれの年度おける図書購入費をお答えください。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 28年度の購入予算については1,450万円、29年度の購入予算は940万円でございます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 25、26、27年はどうなんですか。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 28年度以前につきましては、1,450万円でございます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 私も以前、図書館で図書館長をやっていたんですけど、私が図書館をやめるときに、いわゆる指定管理者にしたわけなんです。そのときの指定管理にしたときの条件というのは、いかに資料購入費を多くとっていただけるか。

それが、指定管理の基準の一つだったわけです。それがずっと今まで1,450万円できとったやつが、なぜ29年に940万円に落ちてしまったのか、その辺のところの理由を説明してください。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 確かに、指定管理を導入したときの図書購入費というのは

1,450万円ということですが、さかのぼって直営の時代でいきますと1,000万円程度だったと記憶しております。

図書を充実していこうということで、当時の方針としてそのような考え方をとったんだと思いますけれども、当然ながら図書館のスペースには限りがございます。一番蔵書数が多かったのが26年度末ということで、そのときは21万冊ぐらいあったというふうに記憶しておりますけれども、そうなりますと図書の置き場がないという状況でございますので、充実させようと思うと除籍を進めなければいけない、そういったこともございましたので、だんだん置き場を整理しながら現在に至っているということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 今の答弁、ちょっと私も納得できない部分がありますので、以前、うちのところは図書館の資料購入費は1,000万円でした。そのときには学校の図書の購入費は今よりも多かったはずで。それが、前の教育長のときに、図書の購入費用が1,450万円にふえたから各学校の図書のほうも図書館の資料を利用すればいいじゃないかということで、学校の図書の費用を減らしておるはずで。そうすると、940万円に減らしたということは学校図書館の図書資料の購入費用はふやしているわけでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 小・中学校の図書の購入費は従前どおりふやしてはおりません。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） もともと、以前の考え方として、図書の購入というのは学校の図書であろうが図書館の図書であろうが市の図書には変わりがないということで、トータル的に前の購入費を下回らなければいいのかなということで私も了解はしておりましたけれども、ちょっとこの部分でいきますと、この減らした分だけは、この辺のところだけは一度しっかり文科省のほうも読書の推進をしとるわけですので、もう少し、この資料購入費については再度考えていただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 今、議員おっしゃいましたように、市の図書に変わりがないということございまして、当然ながら運用として、今でも学校のほうに図書のほうを回して活用はいただいておりますのでよろしく申し上げます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 学校図書と、それから図書館の図書というのは、やっぱり利用勝手がありますので、一般の小説だとかそういったものは図書館のほうを利用したっていいと思いますけれども、調べ学習だとかそういったものやなんかというのは、やっぱり学校に置いておかないという都合の悪いことがあるわけです。ですから再度、この940万円下げた部分についてはくどい

ようですけれども、学校図書をふやすだとかその辺のところはしっかり考えていただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 学校の図書をということで図書館と連携しながらやっておるんですけども、学校に融通していただく図書というのはバックヤードにありまして、かなりもう充実している状況です。ですので、ずっと補充していくというよりも、立派なバックヤードに今は小・中学校に貸し出せる図書がたくさんありますので、それがたまってきたら追加で購入する数も限られてくると思いますので、学校に融通していただけるものというのは図書館では十分賅っていただいております。

あとは、学校は定期的に計画的に図書をふやしていくという考え方でございますので、予算をふやすという考え方は持っておりませんのでよろしく申し上げます。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 水かけ論ですので、これ以上の議論はやめさせていただきます。

それから、主要成果説明書250ページ、生涯スポーツ推進事業で質問させていただきます。

高浜の芳川緑地多目的広場について、少年野球の利用者より、ピッチャーマウンドがないのでマウンドをつくってほしいとの要望がありましたけれども、つくっていただくことを検討していくことはできないのかお答えください。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 高浜芳川緑地多目的広場は、この名前のおり多目的に使っていただけるという場所でございます。県のほうと協議しながらこの整備のあり方というのは決めてきたわけですけれども、固定でいろんなものを設置していくというのは難しいというところがありますので、マウンドの設置ということで常設的なものというのは考えておりません。

○議長（鈴木勝彦） 6番、黒川美克議員。

○6番（黒川美克） 今、考えていないというお話なんですけれども、やはり利用者の方たちとの協議やなんかはしっかりしていただいて、皆さん方が了解していただければいいわけですので、それぞれ使い勝手についていろいろとあれがあるかもしれませんが、ぜひその辺のところは一応御検討をいただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

1番、杉浦康憲議員。

○1番（杉浦康憲） すみません、主要施策成果書16ページ、17ページなんですが、市税の税目別年度比較表についてお伺いします。

税の合計が平成28年度と比較して約6億5,000万円、7%ぐらい減となっております。以前の補正とかで説明いただいたときに法人市民税の減額によるという説明があったと思います。

が、そのほかに増減の理由と、平成29年度の決算の特徴などがあれば御説明願えればと思います。

○議長（鈴木勝彦） 税務グループ。

○税務G（亀井勝彦） 主要成果の17ページ、収入済額の比較欄をごらんいただけますでしょうか。

29年度の市税につきましては86億3,158万2,561円であり、御質問のとおり、28年度と比較しまして6億5,122万5,801円の減収となりました。減収の主な要因といたしましては、法人市民税が28年度と比較しまして約8億円の減収となりました。主な理由といたしましては、大手自動車関連企業におきまして28年度に予定納税として納められた税額のうち、約1億3,000万円を歳出還付という形でお戻ししたことにより29年度の法人税割が大幅に減収したためであります。

続きまして、主な税目ごとに増減理由についてお答えさせていただきます。

まず、個人市民税ですが、28年度と比較しまして約9,000万円の増となっております。これは納税者1人当たりの所得が増加したことによる税額の増となっております。

続きまして、固定資産税ですが、28年度と比較し約6,800万円の増となっております。主な増の理由といたしましては、開発等により宅地及び住宅がふえたことによるものでございます。

続きまして、軽自動車税ですが、28年度と比較し約500万円の増となっております。増の理由といたしましては、平成28年度に軽課課税をしていたものが、29年度、その軽課課税の適用がなくなったことで正規の税率に戻ったことによるものでございます。また新規車検から13年を経過した車両に対して重課課税、税率の高い適用をした車両が増加したことによるものであります。

続きまして、市たばこ税ですが、28年度と比較しまして1,800万円の減となっております。

都市計画税ですが、28年度と比較しまして約710万円の増となっております。増の理由については固定資産税と同様であります。

最後に、29年度の市税の決算の特徴としましては、法人市民税の大幅な減額によりまして28年度と比較しますと約6億5,000万円の減額となっておりますが、28年度は特別な理由による増額がありましたので過去の決算と比較しましても平均的な決算額以上となっております。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） 1番、杉浦康憲議員。

○1番（杉浦康憲） ありがとうございます。

あと、もう一点、主要成果の64ページ、ふるさと応援事業ということで、決算委員じゃないのでここで質問させてもらいます。

多分、毎年ここら辺質問があると思うんですけども、このふるさと応援事業で高浜に入った、委託ですけどもね、これ、金額はこれだと思うんですけども、当然、高浜から出ていった分等があると思いますので、そちらの数字がわかれば教えていただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 税務グループ。

○税務G（亀井勝彦） ふるさと納税の影響額につきましては、寄附をした翌年の市民税の税額の減となりますので1年ずれることを御承知おきいただきたいと思います。29年度決算におきましては28年中に寄附をされた方に対しまして29年度の住民税の減額となりますが、29年度の市民税の対象としましては約2,726万円の税額控除を行っております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（鈴木勝彦） ほかに質疑もないようですので、これにて認定第1号の質疑を終結いたします。

暫時休憩いたします。再開は11時20分。

午前11時08分休憩

---

午前11時18分再開

○議長（鈴木勝彦） 休憩前に引き続き会議を開きます。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第4 認定第2号から認定第7号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、認定第何号であるかとページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただきますようお願いいたします。

11番、神谷直子議員。

○11番（神谷直子） それでは、認定第6号 平成29年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてお聞きします。

これは、全体のことについてお聞きしたいのでどことは言えませんが、第6期の事業計画では団塊の世代の方々が75歳以上となる2025年を見据え、地域包括ケア計画と位置づけて第5期からスタートした地域包括ケア実現のための方向性を想定しながら、認知症施策や医療と介護の連携などの取り組みを進めてきたと思っております。

その第6期事業計画策定に当たっての主なポイントは、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みの推進に加え、2025年までの中長期的なサービス水準、給付費や保険料水準などを推計し、中長期的な視点に立った施策の展開を図ること、また、法改正の内容で、ある一定以上の所得の利用者負担の見直し、特定入所者介護サービス費、いわゆる補足給付の見直し、そして第1号被保険者の保険料の多段階化、軽減強化などをしっかりと反映させることであります。

第6期の最終年度となります、平成29年度の取り組みを踏まえて策定された第6期事業に掲げました計画値に対して、どのような結果であったかを確認させていただきたいと思います。要介護認定者数や標準給付費など、計画値に対する実績はどのようになっているのかをお尋ねします。



○議長（鈴木勝彦） 介護保険・障がいグループ。

○介護保険・障がいG（野口恒夫） 第6期事業計画全体における計画値に対しての実績でございますが、まず第6期全体の標準給付費の計画値でございますが、72億1,183万6,000円となっております。これに対しまして実績値でございますが、66億3,497万6,000円、実績値割合は92%となっております。給付費全体として計画値内におさまる結果となりました。

また、認定者数でございますが、平成27年の1,519人をピークとしまして平成30年3月末現在では1,466人と減少してございます。その内訳をみますと、要支援1から要介護1の軽度認定者数は増加傾向でございますが、介護2から介護5の重度認定者は減少傾向となっていることから、給付費の全国平均と比較しましても在宅サービスの利用は多く、施設サービスの利用が少ないという傾向になっております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

神谷直子議員、決算認定でありますので、決算認定に付する質問に切りかえていただきますようお願いいたします。

11番、神谷直子議員。

○11番（神谷直子） どこがということを示してくださいということですか。

○議長（鈴木勝彦） はい。

○11番（神谷直子） 全体ではだめということですか。

○議長（鈴木勝彦） 本来なら、総括はここでは質問を受け付けておりませんので、款・項・目、どこの数字をというふうに指定していただきますようお願いいたします。

○11番（神谷直子） はい。

○議長（鈴木勝彦） 後に回しますか。

○11番（神谷直子） それでは、款・項・目って言わないといけないのであれば、ページ数だけでもよろしいですか。

○議長（鈴木勝彦） 結構です。

○11番（神谷直子） じゃ、ページ数、70ページ、介護サービス事業勘定の決算書についてお尋ねします。

そちらの、さまざまな取り組みがされたと思いますが、さまざまな取り組みを行ってどのような評価を持っているのかをお伺いしたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 介護保険・障がいグループ。

○介護保険・障がいG（野口恒夫） 取り組みに対しての評価ということで、第6期の全体を含めてということでお答えさせていただきます。

認知症対策では、地域における認知症対策のキーマンである認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置しまして、情報発信と地域の人材育成を行ってございます。

第6期の施設整備としまして認知症グループホーム18床を整備できたことは、市内の社会資源の充実の観点からも大きい意味があったと捉えております。また現在も満床状態となっております。

また、「脳とからだの健康チェック」では、60歳以上の市民の4割を超える方が受診をされまして、またホコタッチを活用した外出支援につなげることができまして、健康自生地をめぐる方々を多く見かけることができました。

以上のことから、第6期全体として計画につきましては、計画どおりおおむね完了できたものと評価をしております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

1番、杉浦康憲議員。

○1番（杉浦康憲） 主要施策成果書の258ページ、国民健康保険事業のことでお伺いします。

繰越金が1億2,629万13円と出ております。これ減っているんですけども、平成30年度から県のほうに移管したと思いますので、直営で行うのは平成29年度で終わると思うんですが、今後この辺のものというのはそのまま市で管理するのでしょうか。どうやって移行していくのかなということをお聞かせください。

○議長（鈴木勝彦） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（内藤克己） 30年度、本年度からの会計でございますが、繰越金等は勘定として残っていく計画です。258ページで申しますと、歳入のほうでは2番の国庫支出金、3番の療養給付費交付金、4番の前期高齢者交付金、6番の共同事業交付金、こちらが県で一括管理となりますので予算措置から外れます。歳出の面でいきますと、3番の後期高齢者支援金等と4番の前期高齢者納付金等と5番老人保健拠出金、6番の介護納付金、7番共同事業拠出金が県の一括管理となりますので市の会計からは予算がなくなると思います。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（鈴木勝彦） ほかに質疑もないようですので、これにて認定第2号から認定第7号までの質疑を終結いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第5 議案第60号 平成29年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について及び認定第8号 平成29年度高浜市水道事業会計決算認定についてを会議規則第34条の規定により一括議題として総括質疑を行います。

なお、認定第8号の質疑に当たりましては、ページ数等をお示しいたきますようお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 質疑もないようですので、これにて議案第60号及び認定第8号の質疑を終結いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第6 決算特別委員会の設置を議題といたします。

お諮りいたします。

議案第60号及び認定第1号から認定第8号までにつきましては、委員会条例第6条の規定により、8名の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、会議規則第36条第1項の規定により、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。よって、議案第60号及び認定第1号から認定第8号までにつきましては、決算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました決算特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第8条第1項の規定により、神谷利盛議員、柳沢英希議員、浅岡保夫議員、柴田耕一議員、杉浦辰夫議員、神谷直子議員、内藤とし子議員、小嶋克文議員、以上8名を指名したいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました8名の議員を決算特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

決算特別委員会、常任委員会、公共施設あり方検討特別委員会の開催により、9月8日から9月27日までを休会としたいと思っておりますが、これに異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。よって、9月8日から9月27日までを休会とすることに決定いたしました。

再開は、9月28日午前10時であります。

本日は、これをもって散会といたします。御協力ありがとうございました。

午前11時30分散会

---